

## エゾシカ狩猟に関する産業連関分析

北海道大学

安野郁・庄子康

### 1. 産業連関分析の構造

添付の事業による経済波及効果分析(フロー図)をご参照下さい。下記の計算は会議資料作成のために推定した暫定値であり、修正される可能性があります。

### 2. エゾシカ肉販売の経済波及効果

エゾシカ肉の需要額は平成 29 年度野生鳥獣資源利用実態調査(農林水産省)の数値を用いました。需要額は以下の表のとおりです。

項目	生産者価格(万円)	北海道産業連関表分類(104 部門)
食肉卸売・小売	82,989	食肉・畜産食料品
加工販売	8,243	食肉・畜産食料品
調理販売	5,033	飲食サービス

この需要額をもとに北海道産業連関表(北海道開発局)を利用して経済波及効果を計算しました。ただし、北海道産業連関表においてエゾシカ肉は食肉・畜産食料品分野と分類されるため、他の食肉と同じ流通経路であると仮定されてしまうことに注意する必要があります。計算の結果は以下のとおりです。

最終需要額	96,265 万円
域内直接効果	48,079 万円
1 次生産誘発	47,551 万円
2 次生産誘発	9,665 万円
総合生産誘発	105,294 万円
生産誘発係数	1.09

直接需要額が増加した「食肉・畜産食料品」「飲食サービス」を除いて、総合生産誘発額が大きい分野を見ると上から「畜産」(21,793 万円)、「商業」(5,168 万円)、「非食用耕種農業」(2,438 万円)、「道路輸送」(2,113 万円)、「飼料・有機肥料・たばこ」(1,481 万円)となっていました。このうち「畜産」、「飼料・有機肥料・たばこ」の増加は、豚や牛といった家畜の食肉と同じ流通をしていると仮定したことによるものです。一部で養鹿事業は行われているものの、全体に占める割合は大きくはなく、「畜産」、「飼料・有機肥料・たばこ」の生産誘発額の評価は過大であると考えられます。

### 3. 道外からの狩猟者による狩猟の経済波及効果

平成 29 年度道外者エゾシカ出猟日数・来道者数(北海道)をもとに道外からの狩猟者の滞在日数を計算しました。交通費については、作成した旅行費データ、宿泊費については第 6 回北海道観光産業経済効果調査をもとに 8786 円/泊・人として計算しました。需要額は以下の通りです。

項目	購入者価格(万円)	北海道産業連関表分類(104 部門)
宿泊費	6,162	宿泊業
交通費(航空)	4,363	航空輸送
狩猟者登録手数料等	2,672	公務

この需要額をもとに北海道産業連関表(北海道開発局)を利用して経済波及効果を計算しました。結果は以下の通りです。

最終需要額	13,197 万円
域内直接効果	8,454 万円
1 次生産誘発	3,946 万円
2 次生産誘発	2,475 万円
総合生産誘発	14,877 万円
生産誘発係数	1.13

「宿泊業」「航空輸送」「公務」を除いて総合生産誘発額の大きな部門は「商業」(767 万円)、「運輸附帯サービス」(407 万円)、「住宅賃貸料」(380 万円)、「その他对事業所サービス」(368 万円)、「金融・保険」(343 万円)となっていました。

### 4. 西興部村猟区の経済波及効果

西興部村猟区利用者の滞在日数のデータから、宿泊費、交通費、ガイド料を計算し、猟区による需要増加としました。西興部村では紋別空港から西興部村までの送迎を行っており、全利用者が送迎により移動していると仮定してガソリン代の計算を行いました。ガイド料は 1 人当たり(滞在日数-2)日を入猟日数として計算しました。需要額は以下の通りです。

項目	購入者価格(万円)	西興部村 産業連関表分類(63 部門)
宿泊費	230	宿泊業
交通費(紋別空港⇄西興部村)	134	商業
ガイド料	693	その他の非営利団体サービス

北海道開発局が公表している産業連関表は、最も細かい場合でオホーツク地域に対するものです。そこで、オホーツク地域産業連関表もとに、ノンサーベイ法により西興部村産業連関表を推定値で作成しました。この方法では、オホーツク地域と西興部村の産業構造が同じと仮定するため、実際の西興部村の産業構造とは乖離ができる可能性があります。作成した西興部村産業連関表を用いて計算した経済波及効果は以下の通りです。

最終需要額	1,057 万円
域内直接効果	952 万円
1 次生産誘発	63 万円
2 次生産誘発	0 万円
総合生産誘発	1,014 万円
生産誘発係数	0.96

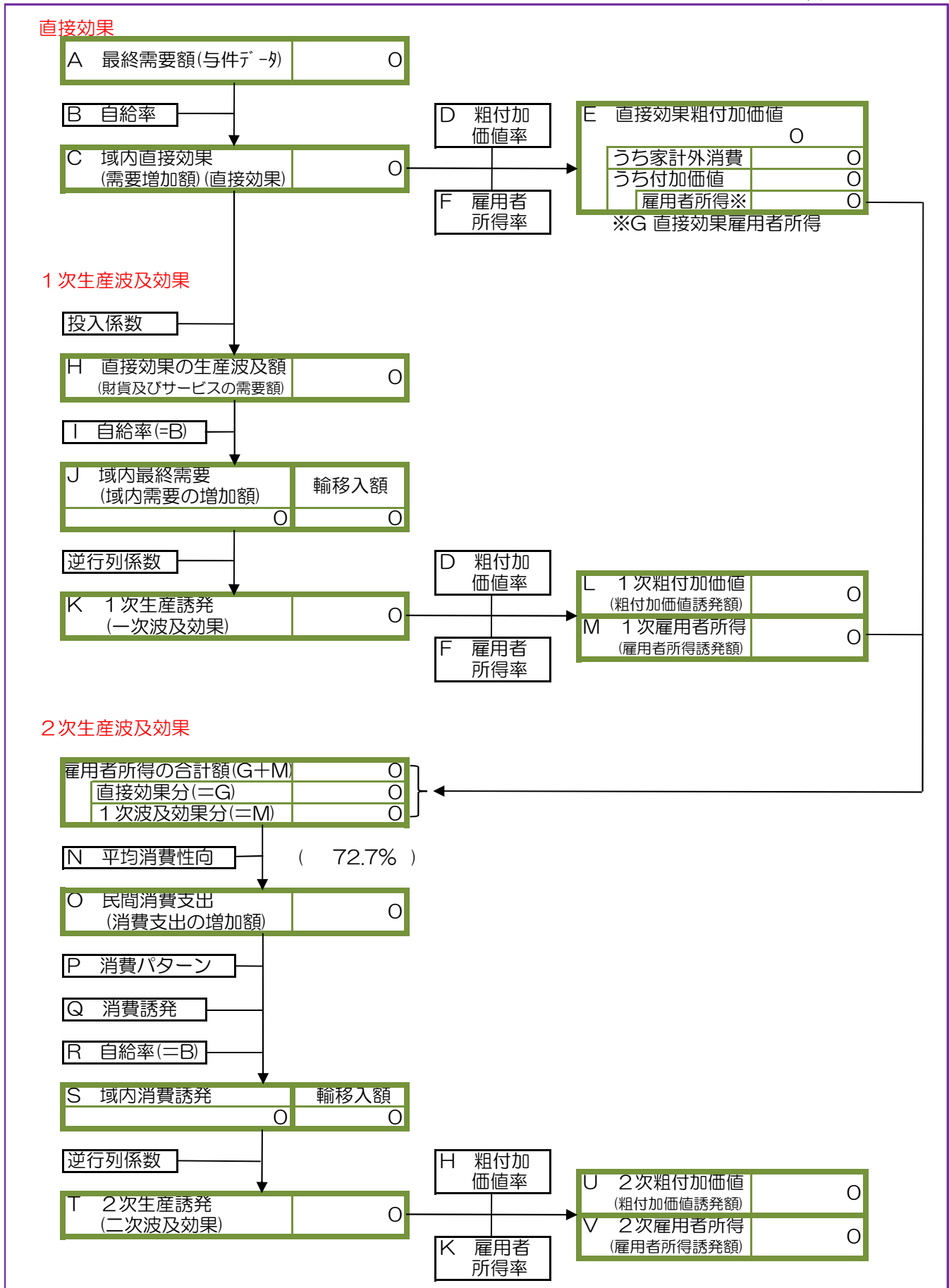
生産誘発額は 0.96 と 1 を下回っています。これは西興部村のみでは産業規模が小さいために、猟区によって発生した需要額の一部が村外に流出したものとして計算されていることを示しています。ノンサーベイ法を使わずに、オホーツク地域産業連関表を用いて猟区による経済波及効果を計算すると以下のようになります。

最終需要額	1,057 万円
域内直接効果	905 万円
1 次生産誘発	202 万円
2 次生産誘発	211 万円
総合生産誘発	1,318 万円
生産誘発係数	1.25

生産誘発係数は 1.25 であり、オホーツク地域全体で見ると猟区によって最終需要額の 1.25 倍の生産が誘発されていることとなります。

# 事業による経済波及効果分析(フロー図)

(単位：百万円)



(注) 端数処理の関係で、各項目の合計値と合計項目の値が一致しない場合がある。  
同様に、他の表の値と一致しない場合がある。